

個人質問

安全を守る市民と行政による防災！ 八街駅北口文化施設の計画は？

誠和会 小高 良則

文化会館について

問 複合施設となる文化会館は望まれる施設であり、駅周辺、商工業発展のためにも早期に計画されることを求められます。現段階での規模、駐車場確保について、具体的な建設計画について伺う。

市長 文化会館的な施設につきましては、現在、八街駅北口暫定ロータリーや暫定駐輪場を使用し、その部分から芝のまきは公園手前までの、公共核施設用地と位置づけているところに整備を予定しております。面積は、約5千8百平方メートルです。この土地面積、さらに駅前という立地などから、建てることのできる建物は、ある程度限定できることとなりますので、千席を超える客席を擁する大ホールを備えた、プロ歌手のコンサートなどの興業もできるというような、一般的に言われる文化会館のイメージとは一線を画するものになります。さらに、土地や立地を有効活用する観点から、複合施設とし、舞台や固定客席が配置されるホールだけでなく、さまざまな分野で活用できる機

能をあわせ持ち、多くの人が集い、交流し、賑わいを創出する施設とする必要もあります。しかし実際の建設ということになると、現在の市の極めて逼迫した財政状況、施設供後の運営維持管理にかかる経費、加えて区画整理事業の進捗や排水設備の整備の状況などを総合的に勘案しますと、現時点では、施設の建設規模、駐車場確保対策、建設時期については、説明できる段階にはございません。

市民対応について

問 窓口業務職員は八街市の顔とも言え、対話・接客の一つ一つが市民サービスであり、八街市を向上させていくと思えます。そこで、お客様である市民との対話の重要性を考え、職員の教育をどのようにしているのか伺う。

市長 市役所の仕事は、行政サービスを市民の皆様へ提供することを中心とし、市民の皆様が接する場合は、職員全員がその認識のもとに誠実に対応しなければなりません。私は、目頃から市民サービスや窓口対応の

重要性について全職員に認めています。残念ながら職員への対応より不快の念を抱かれるお客様がいることも承知しております。市としては、職員研修の中で市民本位の、よりよい行政サービス提供のための接客能力向上を目指し、住民サービス研修や接客研修指導者養成研修、民間企業派遣研修等を実施しています。今後とも市民の皆様からご批判をいただくことがないよう、職員の資質向上に努めます。

防災について

問 火災警報器は、大変有効な器具であると考え、さまざまな方法によりPRし、設置を促すことが火災を未然に防ぐことにつながり、大変必要と考えます。火災予防については、建物火災が多発し、乾燥時期を迎える中で八街市の対応について伺う。

市長 本市における消防業務は、佐倉市八街市酒々井町消防組合の常備消防及び八街市消防による非常備消防での連携により行われているところで、近年の都市化による人口

の増加及び商工業の進展に伴う大規模建築物等の増加により火災が発生した際の延焼等を考えますと、危険性も増大しております。このため、消火活動を円滑、安全に行うための消防実技訓練や規律訓練の実施、水利となる防火水槽等の消防施設の整備や消防自動車の更新等、消火力の強化に努めているところで

八街消防署の消防自動車

また、市民に対する火災予防の啓発を図るため、消防署において「懸垂幕等の掲示や消防車両による巡回広報等を実施することともに、消防団においては、機械器具及び消防水利の点検や各地域分団ごとに管内の広報活動を実施しております。さらに、消防法の一部改正により、全ての住宅への「住宅用火災警報器」が新築住宅ではすでに義務化となっており、既設住宅につきましても、平成20年6月1日から設置が義務化されたことから、自分の身は自分自身で守るという意味において、市民の皆さんに設置を



していただき、住宅火災による死亡事故「ゼロ」を目指して、広報等を通じて今後も周知してまいりたいと考えております。また、空気が乾燥していますと、火災の発生がしやすくなりますので、消防団員も年末年始の警戒を昼夜行つて努力をしております。

その他の質問
グリーンの分別方法
クリーンセンターの焼却能力
について質問しました。